

仁川広域市における 多文化共生の現状と課題



Contents

- I. 仁川広域市における定住外国人の現状
- II. 結婚移住女性の問題
- III. 多文化社会に対する仁川広域市の支援制度
- IV. 多文化都市への目標および発展課題

I.仁川広域市の定住外国人の現状



● 関連法

- ❖ 多文化家族支援法(2011.10.5 施行)
 - 法律全文 17条
 - 主務省庁: 女性家族部
- ❖ 多文化家族支援法施行令
 - 施行令全文 13条
- ❖ 多文化家族支援法施行規則
 - 全文 4条
- ❖ 仁川広域市の多文化家族支援条例
 - 全文 15条



● 韓国の定住外国人の現状

❖ 韓国の定住外国人

- 2010年：1,265,006人
- 2011年：1,395,077人

区分	2008	2009	2010	2011
滞在外国人	1,158,866	1,168,477	1,261,415	1,395,077
長期滞在	895,464	920,887	1,002,742	1,117,481
短期滞在	263,402	247,590	258,673	135,020
不法滞在者	200,489	177,955	168,515	277,596

資料：法務部 出入国・外国人政策統計年報



● 仁川市の定住外国人の現状

❖ 仁川市の定住外国人：69,350人(2010年末基準)

全国および仁川市の定住外国人

区分	住民登録人口	外国人の人口	割合
全国	50,515,666	1,265,006	2.5%
仁川	2,758,296	69,350	2.5%

仁川市の定住外国人

区分	人口
外国人労働者	32,100
在外僑民	3,498
留学生	2,147
その他の外国人	10,154
外国系住民の子ども	8,868



● 韓国の結婚移民の出身国籍別状況

❖ 2011年12月末基準, 韓国の結婚移民者 : 144,681人(2.1% 増加)
 - 女性 : 86.4%, 男性 : 13.6%
 - 国籍 : 中国(44.4%), ベトナム(25.9%), 日本(7.7%), フィリピン(5.8%)

区分	2006	2007	2008	2009	2010	2011	
合計	93,786	110,362	122,552	125,087	141,654	144,681	
性別	男性	10,958	13,126	14,753	15,876	18,561	19,650
	女性	82,828	97,236	107,799	109,211	123,093	125,031
国籍	中国	56,286	63,203	67,787	65,992	66,687	64,173
	ベトナム	14,831	21,614	27,092	30,173	35,355	37,516
	日本	6,546	5,823	5,223	5,074	10,451	11,162
	フィリピン	4,324	5,033	5,819	6,321	7,476	8,367
	その他	11,799	14,689	16,631	17,527	21,685	23,463

資料 : 法務部 出入国・外国人政策統計年報



● 韓国の国際結婚の現状

❖ 2011年の国際結婚の件数 : 29,762件(4,473件 減少)
 - 外国人との結婚 : 総婚姻数 (329,087件) の9.0%水準

❖ 韓国人男性と外国人女性との国際結婚 : 22,265件(15.3% 減少)

❖ 韓国人女性と外国人男性との国際結婚 : 7,497件(5.8% 減少)

❖ 韓国人男性と結婚する外国人女性の国籍
 - ベトナム(34.3%)、中国(33.9%)、フィリピン(9.3%) 順

❖ 韓国人女性と結婚する外国人男性の国籍
 - 中国(24.9%)、日本(22.8%)、アメリカ(21.8%) 順



仁川市の結婚移民の現状

❖ 仁川市の結婚移民の数 : 12,583人

- 国籍取得者 : 4,636人(37%)
- 国籍未取得者 : 7,947人(63%)

全国および仁川市の定住外国人

区分	結婚移民者	国籍未取得	国籍取得
全国	211,458	141,654(67%)	69,804(33%)
仁川	12,583	7,947(63%)	4,636(37%)



仁川市の結婚移民の出身国籍別状況

- ❖ 国籍 : 中国(66.4%)、ベトナム(13.8%)、フィリピン(4.4%)、日本(4.3%)
- ❖ 最近5年間、ベトナムの国籍の結婚移民は急激に増加

仁川市の結婚移民の出身国籍別状況

合計	中国	中国 (韓国系)	ベトナム	フィリピン	日本	タイ	モン ゴル	カンボジア	台湾	ロシア	その他
12,583	4,822	3,530	1,742	548	443	208	201	126	85	80	808
100(%)	38.3	28.1	13.8	4.4	3.5	1.7	1.6	1.0	0.7	0.6	6.4

II. 結婚移住女性の問題



結婚移住女性の問題

- ❖ 結婚移住女性の共通の問題
 - 言葉の壁に代表される社会適応の問題
 - 子どもの養育の問題
 - 子どもの学習適応の問題
 - 経済的自立の問題(就業の難しさなど)
 - ドメスティック・バイオレンスなどの人権侵害問題
 - 在留権保障の問題(特に、離婚後の帰国問題) など
- ❖ 出身国籍別および経済的状況による問題
 - 例) ベトナム人移住女性の場合
 - 低年齢、低学力 ⇒ 就職の問題
 - 配偶者との文化の差異による問題

Ⅲ.多文化社会に対する仁川広域市の 支援制度



仁川市の結婚移民に対する支援政策

- ❖ 多文化家族支援センター
 - 韓国語教育、韓国社会の理解教育、多文化理解教育
 - センター訪問が困難な結婚移民のための訪問教育
: 139名の訪問指導者が多文化家庭を訪問
 - 移民女性の人権保護のための支援事業
 - 移民女性のための施設の運営および支援
- ❖ 多文化家庭の子ども支援
 - 子どもの学習のためのメンタリング支援
(仁川市の大学生と多文化家庭の子どもとのメンタリング結縁)
- ❖ 通訳および翻訳支援
 - 翻訳サービスの提供
 - 結婚移民を対象とする通訳者及び翻訳者の養成のための教育課程開設、支援



仁川市の多文化関連組織

❖ 多文化家族支援協議会

- 構成員：12人
⇒ 委員長(行政副市長)および市民社会団体代表、多文化家族支援機関の推薦する者
- 多文化家族政策の施行、計画の樹立および評価に関する事項などを協議・調整

❖ 多文化家族支援センター

- 韓国語教育、多文化家族の統合教育および個人・家族相談を提供
⇒ 韓国社会への早期適応と社会的・経済的な自立支援
- 多文化家族支援法 第6条(生活情報提供および教育支援)

区分	計	ソウル	釜山	大邱	仁川	光州	大田	蔚山	京畿	江原	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	済州
計	201	23	8	7	8	4	4	4	29	14	12	15	14	20	20	17	2
独立型 ¹⁾	153	6	7	6	5	2	4	4	13	12	12	15	14	19	18	14	2
併合型 ²⁾	48	17	1	1	3	2	-	-	16	2	-	-	-	1	2	3	-

1) 健康家庭支援センターと別個で多文化家族支援センターを指定受けたセンター

2) 健康家庭支援センターから多文化家族支援センターを指定受けたセンター



仁川市の多文化関連組織

❖ 多文化代案学校：ハンヌリ学校(公立寄宿型代案学校)

- 開校：2013年 2月(仁川市 南洞区)
- 学生数：210人(小・中・高校統合 14学級)
- 教育内容：韓国語・文化の理解教育および学校教育課程並行

❖ 多文化学部の開設(大学院)

- 仁荷大学の修士および博士課程の在学学生：41人(2013年2月 現在)

①多文化学専攻

- 対象：研究者と民間機関の実務家
- 国内外多文化社会の現実、理論、政策、実践に対する研究
- 学位授与(多文化学修士および博士)

②多文化教育専攻

- 対象：小・中・高校教師、教育専門職および学校経営者など教育者
- 多文化教育の現実、理論、方法研究、授与学位(教育学修士および博士)



主な事例

- ❖ 市民が自発的に結婚移民女性のためにさまざまな活動を行う
- ❖ 仁川女性団体協議会
 - 多文化家族のための合同結婚式、母親縁組などを実施
- ❖ カフェ・ウェハルモニ(母方のお母さん)
 - 2012年開業(Community Business)
 - バリスタ 教育を履修した高齢者がカフェを運営
 - 外国人労働者と移民を対象にハングル教育を提供
- ❖ アジア移住女性の多文化共同体(Asian Women's Community)
 - 「(社)仁川女性の電話」が 企業の社会貢献プログラムとして場所を提供
 - 映画制作、ホームファッション製作、カフェ運営など



主な事例

- ❖ 多文化の理解および体験教育教師
 - 移民女性が小・中学生を対象に「多文化理解および体験教育」を実施
 - 2011年からスタート ⇒ 現在まで約30校(1,000人)で教育実施
 - 移民女性の母国の文化と歴史、伝統の遊びの紹介および伝統衣装着用





主な事例

❖ 多文化家族と体育行事

① SK Wyverns 少年多文化野球団

- 全国最初の少年多文化野球団
- 小学校3年生から6年生までの多文化家庭の子ども25人で構成



主な事例

❖ 多文化家族と体育行事

① 仁川 FC

- 仁川市民プロサッカークラブ
- 多文化家族 3,000人招待 ⇒ 多文化の解け合いの場





主な事例

- ❖ 移住女性採用
 - 仁川市の「120 ミチュホールコールセンター」の相談士として採用
 - モンゴル出身の移住女性採用



主な事例

- ❖ 市民名誉外交官委託
 - 国際交流および2014年仁川アジア大会
 - 市民名誉外交官として多文化家庭出身者(10人)任命





● 主な事例

- ❖ 運転免許教室(仁川警察庁)
 - 多文化家庭と外国人を対象とした犯罪予防教室、運転免許教室運営
 - 免許を取得した受講生などが教材内容を母国語で講義



● 主な事例

- ❖ 仁川の外国人居住者割引(仁川市居住外国人支援条例)
 - 旅客船運賃50% 割引(仁川港～諸島)
 - 国際特送(EMS) サービス料金11%割引 (仁川市と京仁地方郵政庁との協約)





● 主な事例

- ❖ 多文化家族合同結婚式(無料)と多文化 VILLAGE 開催
 - (社)仁川市女性団体協議会 主催
 - 中国、ベトナム、フィリピンなど7カ国の多文化家庭
 - 晚餐とレクレーションなど1泊2日の新婚旅行を支援
 - 「多文化 VILLAGE」同時開催
(伝統公演、世界風物展示、伝統衣装行列、多様な食べ物と文化体験行事など)



● 主な事例

- ❖ 外国人労働者とともにを行う忘年会





● 主な事例

- ❖ 2012 仁川 アジア ハンウルタリ(一の垣)文化祭
- 15カ国の食べ物と文化が交流するフェスティバル



- インターネット放送「ミントTV」
- 仁川市が直接運営するインターネット放送
- 「ミントTV」市民記者 山田孝子
(仁川市 佳佐洞, 日本の埼玉県出身)



● 主な事例

- ❖ 仁川慈善クリニックセンター
- 外国人労働者および多文化家族のための無料診療所
- 開院：2002年 9月
- 診療科目：内科、外科、整形外科、産婦人科、歯科、眼科など
- 医療スタッフ：キリスト医師会 会員専門医(15人)
- 診療時間：毎週 日曜日 午後 3時~5時
- 対象：外国人労働者および多文化家族
- 後援：韓国外国人宣教会などの団体および個人





主な事例

- ❖ 多文化家族のキムチ作り文化体験
 - 仁川文芸専門学校 フードスタイリスト学科の学生支援
 - 白菜キムチ、白キムチ、水キムチ、カクテキ、オイソバギ(きゅうりキムチ)など
 - 自分で作ったキムチをお持ち帰り



主な事例

- ❖ 多文化新聞「ダサラン(多愛)」
 - 多文化家族の生活情報新聞
 - 創刊：2010年
 - 発行部数：1万2千部 発行(月1回)
 - 韓国語/英語 5千部, 韓国語/中国語 4千部, 韓国語/ベトナム語 3千部発行(B4 12面)
 - 名誉記者委託
 - : フィリピン、ネパール、タイ、ベトナム、中国など結婚移民者の女性および外国人労働者
 - 配付先
 - : 出入国管理所、多文化家族支援センター、各区役所および住民センター、学校などに無料配付
 - 今後「ダサラン(多愛)」拡大計画
 - : 2014 アジア大会参加国の情報と文化を紹介



主な事例

➤ 仁川広域市長と多文化新聞「ダサラン(多愛)」の名誉記者



主な事例

- ❖ ドメスティック・バイオレンスの被害を受けた移民女性の保護施設「ウルララ」運営
 - 離婚およびドメスティック・バイオレンス被害の結婚移民の人権保護
 - 相談 190件、法律支援 2件、医療支援 118件、交通通信支援 121件
 - 6つの被害回復および再発防止のプログラムを運営

- ❖ 多文化家庭の子どものための「Book スタート」
 - 仁川市南区の多文化家族支援センター
 - 対象：多文化家庭の親子20組
 - ボランティアが子どもと本を読み、内容と関連する遊びをするプログラム

IV. 多文化都市への目標および 発展課題



● 目標

- ❖ 幸せな多文化家庭のためのまちづくり
- ❖ 多文化家族支援センターの拡充および効率的な運営
- ❖ 結婚移民のための雇用創出および子どもの学習を支援
- ❖ 多文化家族の社会統合を支援





発展課題

- ❖ 移住外国人が直面する問題は、コミュニケーション力や経済的な困難に起因
- ❖ 「単一民族」を強調する韓国の文化(家族文化)が移住外国人を差別
- ❖ 現在のグローバル時代には、社会、経済、教育、文化など多様な領域で国際化が急速に進行
- ❖ 人類の共同構成員としての世界人(多文化、多人種)とともにする多文化都市へ発展を模索
 - 仁川は仁川国際空港、仁川港などのインフラを備えた国際都市
 - 歴史的に約130年前、韓国の最初の開港都市
- ❖ 仁川は「2014年仁川アジア大会」の開催地として開放、改革および交流を目指した国際都市
- ❖ 仁川市が多文化都市への進むためには多様な市民参画と実質的な支援方案を備えるための制度的な改善が必要

ありがとうございました。